

# まのぞろ

第73号

2021年3月1日発行

発行/社会福祉法人育心会

盛岡市西松園二丁目6番1号

019-661-6266



## ～ 育心会基本方針 ～

- 一、利用者を主人公にすえ、究極のサービスに挑みます。(利用者)
- 二、地域への感謝の心を忘れず、地域と共に歩み続けます。(地域)
- 三、心と技を磨き、働きがいのある活気に満ちた職場にします。(職員)
- 四、経営の自立と健全性、進化し続ける法人を目指します。(法人)

- ◆軽費老人ホームB型 松園ハイツ
- ◆特別養護老人ホーム 第二松園ハイツ
- ◆地域密着型介護老人福祉施設 北松園ハイツ
- ◆第二松園ハイツデイサービスセンター
- ◆第二松園ハイツヘルパーステーション
- ◆第二松園ハイツ居宅介護支援事業所
- ◆盛岡市松園・緑が丘地域包括支援センター
- ◆育心会福祉交流館「暖炉の家」

## 写真特集

## 前略、私は元気です

居宅介護支援事業所事業紹介  
ケアマネジャーが行く

PR 松園・緑が丘地域包括支援センター



写真特集

# 前略 私は元気です。

新型コロナウイルスへの警戒は長期戦となっています。みなさまが一堂に会するような行事は見送らざるを得ず、食事の際も「黙食」をお願いするなど、ご利用者の暮らしも様変わりしました。

このような状況下においても、ご利用者のみなさまは、楽しみを見つげながら、コロナ禍に負けずいきいきと過ごされています。今号ではご利用者のお元気な様子をお伝えし、ウイルスをも吹き飛ばすような「長寿パワー」をお届けします。



節分に一年の健康を願って



皆さんの力を合わせて新年を迎える準備

## 松園ハイッ

感染を予防しながら、ゆったり、自分らしく。



趣味を満喫しています



プレゼントを入れる箱を作っています



福は内、コロナ外!



アイロンがけもお手の物



絵馬に込めた今年の想い



獅子舞もマスクで感染対策中



密を避け外でのんびりおしゃべり

「安心」と「楽しみ」  
どちらも充実しています

## デイサービス



歳末に響く素敵な歌声



息を合わせて、それっ! 筋トレにもなります



キラリと光る美的センス



杵に力と気持ちをこめて

第二松園ハイッ

安全に、そして安心して、  
落ち着いた日々を送っています。



絵馬に今年の願いを託して



疫病の鬼が一日も早く消えますように



クリスマスのプレゼントを貰いました



気持ちいい足湯ににっこり笑顔



縁起物の獅子舞がやってきました



腕に覚えあり 筆が走ります



書き初めに挑戦



松茸の薫りを堪能



お正月のお花を準備しましょう



男性職員に雛飾りを指導してくれました



会長さんが敬老のお祝いにきてくれました



今年はユニットごとにお祝いました

北松園ハイッ

面会や外出、不便もあるけれど、  
自分の時間を楽しんでいます

レポート

コロナが変える




研修・会議のカタチ




新型コロナウイルス感染症予防対策として、ソーシャルディスタンスが注目される昨今、インターネット通信を介してオンラインで会議や研修会に参加する機会が増えています。育心会でも職員研修や会議に活用する機会が増えているところですが、この間、オンライン研修会等へ参加した職員から寄せられた感想や意見をもとに、オンラインを活用するメリットとデメリットについてまとめてみます。



パソコンの前で研修を受講する姿も定着した

オンライン会議のメリット・デメリット

- 
**移動時間が不要**  
 従来、全国規模の会議や研修に参加する際は、新幹線等での長時間の移動が必要で、時間的拘束や切符の手配などが負担となっていました。オンラインであれば、施設内でネットワーク環境さえ整っていればそのような負担もありません。
- 
**全国の会議に参加でき交流できる**  
 今回は全国の研究会議に参加し、北海道から九州まで全国の参加者と同じ時間を共有することができました。このようにリアルではなかなかお会いできない方々と交流できることは大きなメリットです。また、感染対策に関する講義では、著名な教授に直接質問を行ったり、他の方の質問への回答を伺うことができ、対面会議のように遠慮せず意見も言いやすいような雰囲気がありました。
- 
**会議内容が分かりやすくなる**  
 会議資料は電子化し、あらかじめメールやチャットで送っていただきました。開催する側も、会議室の準備や紙の書類の印刷などの準備が必要なく効率的です。オンライン会議システムには画面共有機能が備わっているものが多く、お互いのPCの画面を共有しながら会議が出来るため「今何を伝えようとしているか」が紙の資料だけよりも伝わりやすいと感じます。

- 
**参加者の表情や雰囲気がつかみづらい**  
 質問への回答や、研修内容が理解できているかどうか、相手の表情が読み取れず反応を捉えづらいデメリットが。また、他の参加者の雰囲気がわからないため、意見する際にも自分だけそう思っているのではないかと不安になることがありました。
- 
**ニュアンスが伝わらず誤解につながる**  
 対面であれば、身振りや手振り、表情も合わせて意見を述べられますが、音声やパソコン上の映像のみでは、細かなニュアンスが相手にうまく伝わらず、話がかみ合わないことがあります。このことを念頭に、かみ砕いた言い方をすることがオンライン会議のポイントになりそうです。意思の疎通がより重要となるような内容や、真意や熱意をリアルに伝える必要がある場合(例えば、上司が部下に仕事を教えるときなど)は、オンラインの不得手な分野かもしれません。
- 
**通信環境や機器の不具合が考えられる**  
 通信環境やパソコン、マイクなどの機器に不具合が生じた場合に、会議自体に参加できない恐れがあります。自分のマイクやスピーカーに不具合が出て、他の参加者には聞こえていれば、会議自体の進行が止まることはありません。あらかじめ不測の事態に備えて準備やITスキルを持った職員のサポートがあると安心です。

このほか、育心会では会議だけでなく、ご利用者様の面会にもオンラインを活用している事業所があります。対面での面会に感染の不安を感じる方がいる一方、直接会って話したいという想いに応え、ご利用者様やご家族様との心の距離を縮められるように、気持ちに寄り添ったサービスを目指しています。

これまで、介護業界における情報技術の活用は、記録の電子化など一部にとどまり、他の業界に比べて進んでいない状況にありました。新型コロナウイルスの流行が、結果的にこうした状況の進展のきっかけとなりつつあります。今後、コロナ禍が終息しても、一層深刻な人材不足が予測される介護業界において、情報技術を上手に活用し研修や会議の効率化を図ることはますます重要となりそうです。



ビデオ通話アプリを使って画面越しに家族と談笑

## 居宅介護支援事業所 事業紹介

# ケアマネジャーが行く

居宅介護支援事業所は、介護が必要な方が、サービスを円滑に利用できるよう調整する役割を担っています。ケアマネジャーは、日頃からご利用者・ご家族の一番身近な専門職として在宅での暮らしを支援しています。でも、ケアマネさんって普段はどんな仕事してるんでしょう？今回は、そんな疑問にお答えします。

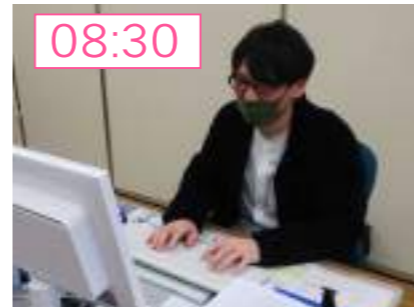
宮野学  
主任ケアマネジャー



### 09:20 サービス事業所や医療機関との連携

サービス事業所との連携業務。利用日程の調整はもちろん、ご本人やご家族の要望を伝えたり、事業所からご利用の様子をお聞きしたりと、日頃から密接な連携に努めます。

また、介護だけでなく、医療からの支援が必要なご利用者も多く、介護と医療との橋渡しもケアマネジャーの重要な仕事です。特に入院されたご利用者については、退院後の生活を見据えて早期に連携して調整を進めます。



### 08:30 ケアプラン作成など

朝イチは事務仕事から。ケアマネジャーは意外と事務仕事も多いんです。ケアプランの作成に始まり、介護保険の給付管理、支援経過の記録、行政に提出する書類の申請代行など…。パソコンとにらめっこする時間もケアマネジャーの仕事です。

入院した方の情報は、ご本人などの同意を得て医療機関とも共有します。普段は直接訪ねてご本人とも面会しますが、今は新型コロナ対策のため、やむを得ずFAXなど文書でのやり取りに。

### 10:10 ご利用者のお宅に訪問

実際にお宅に訪問して、ご本人やご家族からお話を伺います。今後のサービス利用予定を確認したり、生活の困りごとをお聞きします。

お話だけでなく、家の様子やご本人の服装・顔色なども注意深く見て、小さな異変にもいち早く気付けるようにしています。



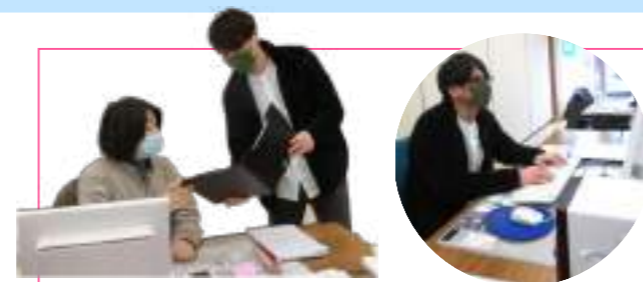
### ケアプラン（介護サービス計画書）

その方が望むその方らしい生活をしていくのに必要なサービスをまとめた計画書です。心身の状態だけでなく、ご利用者やご家族が困っていること、これからどのような生活を送りたいかなどの希望を踏まえて作成します。

### 11:00 要介護認定調査



市からの委託を受けて要介護認定の調査員を務めるのもケアマネジャーの仕事です。自宅などを訪ねて、心身の状態について、聞き取り調査を行います。



その日の経過を上司に報告し、日報を作成します。担当者が不在でも、事業所として対応できるように事業所内での「報・連・相」は重要です。最後に、明日の予定を確認したら、本日の業務は終了！さ～て、帰って一杯やりませんか！？

### 17:30 報告・記録

### 15:45 サービス利用の調整

急遽、ヘルパーサービスを調整して医療機関へ。診察の結果、特に異常はありませんでした。でも痛みがあり自宅に戻るの不安というご利用者の声を受けて、ショートステイを緊急利用することに。何よりご利用者の生活に支障が生じないように、臨機応変にサービスを調整します。

### 13:30 ランチタイム☆

ちょっと遅めのお昼ごはん。しっかり食べてスタミナをつけなきゃ！

食生活は、主食、主菜、副菜を基本に、食事のバランスに気をつけましょうね。



ご本人やご家族、利用サービスの担当者が一堂に会し、支援の方向性をすり合わせます。ケアマネジャーはこの会議の進行役も務め、ご本人やご家族が分かりやすいように仲介したり、質問しやすい雰囲気作りに心がけています。

### 11:40 サービス担当者会議

### モニタリング

ご利用者の心身の状態は日々変化していくので、一度つくったケアプランも実際のニーズとズレが生じることがあります。こうしたズレをチェックして修正したり微調整したりするために、毎月、ご利用者やご家族にお会いしてお話を伺い、状況を確認します。

### 16:30 ケース会議



一人で対応することの多いケアマネジャー。支援の方法に悩んだり、支援が独りよがりになっていないか振り返る必要があるときも。ケース会議では、同僚ケアマネジャーからさまざまなアドバイスをもらい、支援方法を見直します。

### 14:15 緊急事態発生！

お一人暮らしの方が自宅で転んでしまったとの一報が！生活に支障がないか確認するため、ケアマネジャーがご自宅に向かいます。



こんなときもケアマネジャーにご相談ください！

- ▼ 役所から届いた手紙の意味がわからない。見てほしい！
- ▼ サービス事業所の対応に疑問がある。
- ▼ 最近なんだか様子が違うような。どう対応したらいいの？



PR

## 松園・緑が丘地域包括支援センター(おとしより相談センター)

地域の皆さまが住み慣れた地域で安心して暮らしていただけるように、介護、福祉、健康、医療など、さまざまな面から高齢者の方やそのご家族を支えています。皆さまからの相談ごとを、関係機関と連携して解決に努めています。

主任ケアマネジャー、保健師、社会福祉士、生活支援コーディネーター兼認知症支援員、介護支援専門員が「チーム」で活動しています。



高齢者の方、ご家族、地域の方、ケアマネジャー等の相談を受けています。

### 介護について

- どのような介護サービスがありますか？
- 親が認知症で自宅に閉じこもりがち。デイサービスに通うにはどうしたらいいですか？

介護サービスや利用できるまでの流れなど説明いたします。要介護認定の申請のお手伝いもいたします。ご相談は訪問、来所可能ですので、まずはお電話ください。

### 健康について(介護予防)

- 健康づくりに取り組みたいです。
- 地域の集まりに来て、体操や認知症のことについて教えて欲しい。

住民主体で行われている体操教室や介護予防教室などご紹介いたします。また、チェックリストで該当になった方は運動指導を中心とした短期集中予防サービスに参加していただくこともできます。



脳いきいき教室(成年後見制度について)



町内福祉懇談会



脳いきいき教室(自効)

### 権利を守ることにについて

- 物忘れがありお金の管理が心配です。
- 近所に虐待されているかもしれない高齢者がいます。どうしたらいいのでしょうか？

認知症などで判断能力が衰えたときに備えて、「成年後見制度」を利用できます。ご本人の権利と財産を守る制度です。手続きの説明やお手伝いをいたします。虐待の早期発見・把握に努め、ご本人をお守りし、ご家族も支援します。

### 地域づくりのお手伝い

- 地域のためにできることってなんだろう？
- 自分でできることをしたいけど、どうしたらいいの？

地域で支え合いながら生活していくにはどうしたらいいか、地域の皆さまと一緒に考え、地域のつながりを広めていけるよう取り組んでいます。地域でこんなことやってみたい！やれることがあったらやりたい！という方、ぜひ当センターへご連絡ください。地域の担い手を募集しています！！



認知症サポーター養成講座や  
家族介護者リフレッシュ交流会など  
開催しています！

盛岡市松園・緑が丘地域包括支援センター(おとしより相談センター)

☎ 019-663-8181

担当地域 松園、東松園、西松園、北松園、小鳥沢、東黒石野、黒石野、緑が丘、東緑が丘、岩脇町、高松4丁目、上田字(小鳥沢、松屋敷、東黒石野、黒岩、宇登坂長根、狐崎稻荷、稻荷窪、狐森)

## あ と が き

東日本大震災からもう10年。先だっ  
ての地震が、まだ震災の余震だとい  
う報道があり、直後には心がけて  
いた非常食の用意や、車のガソリン  
をこまめに満タンにしておく事な  
どの防災意識が薄れてきていたこ  
とを感じました。施設でも自宅  
でも、今一度防災グッズや危険箇  
所の確認、家族や近隣の方と避難  
方法を確認しておくことが必要な  
のかもしれません。

たちばな

今年度も終わりに近づいています。  
振り返ってみると、何をやるにも  
コロナ、コロナ…でした。生活様  
式が変わる中でICTの活用や導入  
が進んでいます。遠くにいる人と  
も画面を通して会ったり、事業  
所間のやり取りがスムーズにでき  
たり、期待できることがいっぱい  
です。これからはICTとも仲良く  
しながら、皆さんとコロナを気に  
せずにお会いできる日々を願  
います。

はやかわ

年末のセールでスマートスピーカー  
を買いました。「アレクサ、明日  
の天気は?」「アレクサ、買い物  
リストにマヨネーズ入れて」なん  
て、けっこう便利。でも最近「  
アレクサ」と呼ぶと、1歳の息  
子が、スピーカーのコンセントを  
引き抜き、本体を抱えて持って  
きてくれるように…。本人はお  
手伝いのつもりで満足げなので、  
怒るに怒れないのでした。

ほりうち